

日高管内のカラマツ住宅建築促進活動について

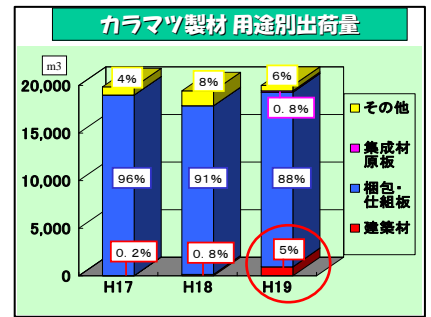
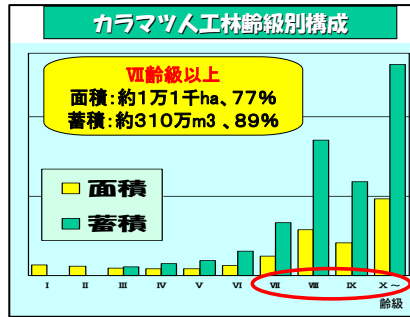
檜山森づくりセンター 普及課 増本照夫

はじめに

道産木材の利用拡大は、森林整備の推進や林業生産活動の活性化を図る上で重要な課題であります。このため、主伐期を迎えた日高産カラマツの利用促進を目的に、地域の林業・木材産業界や住宅産業界と連携して実施した「カラマツ住宅の建築促進活動」の取り組みについて報告します。

カラマツ資源の現状と背景

- 一般民有林のカラマツ人工林 8齢級以上
 - ・面積：77% ・蓄積：89%
- カラマツ製材用途別出荷量 (H19) 建築材出荷わずか5% (梱包仕組材88%・その他7%)



カラマツ住宅促進の取り組み

- 活動内容
 - ・カラマツ住宅見学会、セミナー等の開催
 - ・住宅建築説明会、懇談会の開催
 - ・カラマツ材利用促進補助金制度の活用
- 森づくりセンターの支援
 - ①普及啓発用資材、パンフ等の制作
 - ②イベント等の企画立案
 - ③関係者等との連絡調整
 - ④情報の提供

平取町カラマツ材利用促進事業の取り組み

- 補助条件
 - ①地場産カラマツ材の使用 (構造材に5m³以上)
 - ②1次加工 (町内製材) 2次加工 (町外集成材)
 - ③カラマツ住宅見学会へのフィールド提供
- 補助金額 1m³当たり2万円以内
- 補助金の上限 30万円



普及指導活動の成果

- ①建築部材としての認識向上
- ②「地材地消」の理解向上
- ③関係者との連携強化
- ④管外工務店等との連携と情報の共有化

普及指導活動の成果

カラマツ住宅建築実績

町\年度	17	18	19	20	計
平取町		2	3	1	6
日高町	1		2		3
新冠町	2				2
新ひだか町		2			2
浦河町		1			1
計	3	5	5	1	14

今後の課題と展開方法

- ①無垢材使用の不安感解消→集成材を併用した住宅建築の促進
- ②製材乾燥技術のレベルアップ→技術研修会等開催、企業等への派遣
- ③生産流通システムの構築→供給体制づくりのための懇談会等の開催
- ④ソフト面での効果的なPR活動の展開→インターネットによる情報発信